

# 令和8年度 姫路市予算のポイント

## 1 予算の特徴

- ・全会計を合わせた予算規模、一般会計の予算規模は、ともに過去最大
- ・一般会計における経常的経費は、前年度比 69 億円増の 2,145 億円で過去最大
- ・うち義務的経費は前年度比 38 億円増の 1,345 億円で過去最大
- ・投資的経費は、学校体育館の空調整備等の減により、前年度比 33 億円減の 473 億円（令和 7 年度 2 月補正予算等を加えると 531 億円）
- ・収支不足は 35 億円で前年度より 10 億円の減

## 2 重点取組

### ① 少子化対策・子ども支援

RS ウイルスワクチン予防接種の推進、5歳児健診のモデル実施、姫カツの推進

### ② デジタル化

フロントヤード改革（「書かない窓口」受付体制の充実、「待たない窓口」予約サービスの活用）

### ③ グローバル化

国際戦略の策定、グローバル人材の育成、海外企業誘致

### ④ 魅力あるまちづくり

ひめじスーパーアリーナ・（仮称）観光交流センターの開業、自治会 DX 推進

## 3 予算規模

### 全会計合計

4,370 億円（+73 億円、+1.7%）・・・過去最大（2 番目＝㉚4,297 億円）

#### ◆一般会計

2,618 億円（+36 億円、+1.4%）・・・過去最大（2 番目＝㉚2,582 億円）

#### ◆特別会計（7 会計）

1,149 億円（+21 億円、+1.9%）

#### ◆企業会計（2 会計）

603 億円（+16 億円、+2.6%）

## 4 一般会計の概要

### 【歳入】

#### 市税

1,063 億円（+22 億円、+2.1%） 給与所得等の増加による個人市民税の増

#### 地方消費税交付金

144 億円（+14 億円、+10.8%） 物価高に伴う個人消費額の増

#### 国庫支出金

515 億円（+21 億円、+4.2%） 自治体システム標準化の進捗及び障害者福祉給付の増

#### 県支出金

186 億円（+22 億円、+13.3%） 小学校給食無償化による増

#### 市債

241 億円（△87 億円、△26.5%） 学校体育館空調整備及び消防指令システム更新の減

### 【歳出】

経常的経費 2,145 億円（＋69 億円、＋3.4%）、81.9%（＋1.5 ポイント）

うち義務的経費 1,345 億円（＋38 億円、＋2.9%）、51.4%（＋0.8 ポイント）

人件費 423 億円（＋16 億円、＋3.9%）

扶助費 705 億円（＋14 億円、＋2.0%）

公債費 217 億円（＋8 億円、＋3.9%）

投資的経費 473 億円（△33 億円、△6.7%）、18.1%（△1.5 ポイント）

補助事業費 248 億円（＋65 億円、＋35.1%）

単独事業費 225 億円（△98 億円、△30.3%）

令和 7 年度 2 月補正予算等と合わせると 531 億円（△17 億円、△3.2%）

※国の経済対策に対応し、学校、公園、道路整備等の投資事業について、令和 7 年度 2 月補正予算と一体的に編成するとともに、公共工事平準化のため債務負担行為を活用 58 億円

### 5 特別会計、企業会計の概要

卸売市場事業 10 億円（△11 億円、△53.1%）

国民健康保険事業 504 億円（＋1 億円、＋0.2%）

介護保険事業 519 億円（＋25 億円、＋5.1%）

後期高齢者医療事業 111 億円（＋9 億円、＋9.5%）

水道事業 215 億円（＋25 億円、＋13.2%）

下水道事業 388 億円（△9 億円、△2.4%）

### 6 基金、市債残高(令和 8 年度末見込)

基金 645 億円（△110 億円、△14.5%）

財政調整基金 113 億円（△34 億円、△22.9%）

21 世紀都市創造基金 72 億円（△70 億円、△49.6%）

減債基金 54 億円（＋9 億円、＋19.6%）

市債 3,016 億円（＋24 億円、＋0.8%）

一般会計 1,891 億円（＋39 億円、＋2.1%）

臨時財政対策債 640 億円（△73 億円、△10.3%）

特別会計 124 億円（△5 億円、△4.0%）

企業会計 1,001 億円（△10 億円、△1.0%）

### 7 行財政改革への取組

既存事業の見直し、使用料等の見直しにより財源を確保

既存事業の見直し 歳出影響額 3.9 億円（133 事業）

使用料等の見直し 歳入影響額 1.8 億円（6 科目）